令和元年度　第2回常任理事会議事録

開催日時：令和2年2月29日（日）　　　　14:00～16：00

開催場所：山口県総合保健会館　山口県診療放射線技師会事務所

出席者：三輪光良　堀　健司　小田真一郎　齋藤茂治　河村裕介　大平知之　山本公志

欠席者：佐野裕一

　以上、定款第35条・38条の規程により構成員の過半数の出席で常任理事会は成立。会長 三輪光良が議長となり、定款第35条に基づく出席者の中より、議事録作成人として山本公志常任理事、議事録署名人として堀　健司副会長と齋藤茂治常任理事を選出した後、次の議案を付議した。

1. **新型コロナウイルスの対応について**

三輪会長：新型コロナウイルスの対応で、対応が遅れ申し訳なかった。今年度の事業はこの後、全て中止とすることにした。下関地域講習会、春季講習会、宇部・小野田地域講習会、乳がん部会講習会、柳井・大島地域講習会を中止とした。各担当理事にはその旨を電話連絡で伝え、周知をお願いした。

河村常任理事：地域講習会でキャンセル料は発生することはあるか。

三輪会長：発生する可能性はあるので確認したい。

小田副会長：宇部・小野田地域講習会でのキャンセル料は出ない。

河村常任理事：キャンセル料が発生した場合は知らせてほしい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため山口県より当会事業中止の要請があり、今年度予定していた下関地域講習会、宇部・小野田地域講習会、柳井・大島地域講習会、春季講習会、乳がん部会講習会を中止とする。中止による会場費などのキャンセル料が発生した場合は事業費で支出する。

1. **来年度事業計画について**

三輪会長：事前にメールで確認してもらったが、例年通りの内容で予算を組んでもらう。

河村常任理事：公益事業積立資産は、公益事業に使用する資産で、計画通り公益事業をおこなった場合に毎年20万円前後取り崩すことになっているが、今年度は講習会の中止の影響で取り崩しが少なくなる見通しだ。このままいけば10万円位の取り崩しとなる見込みだ。その分来年度、少し事業を増やして支出しなければならない。

今年度の決算額を参考に来年度予算を考えてほしい。今年度、定期講習会の見込み額が51万6500円だったのが45～46万円になりそうだ。その他講習会のサーベイメータ講習会の支出はほとんどなかった。

三輪会長：サーベイメータ講習は、講習会担当2名分の交通費のみであった。申し込みが少なかった場合支出が発生することもあったが申し込みが予定数を超えたため発生しなかった。

河村常任理事：地域講習会は、新型コロナウイルスの影響で少し支出が減ってしまう。全国大会が9万円の予算に対して、大体6万円位だったので、来年度はどうするのか検討してほしい。

フレッシャーズセミナーは9万円の予算だったが11万2000円くらい支出があった。内容によっては予算を増やしてもよいのではないかと考える。

会誌予算は30万円だったが、今年度は約47万円で17万円位支出が多くなった。そのおかげで、他のマイナスを補填できている。

健康フェスタは1万2920円で、ほとんどは交通費だった。

お父さんとお母さんの健康講座とマンモグラフィチラシ作成は、予算0円で決算額も0円となっている。

三輪会長：令和2年度、サーベイメータ講習を予定しようと考えている。アンケートをとって毎年参加したいという施設が多くあった。今年度受講していない施設に協力してもらえれば、ぎりぎりサーベイメータを15台くらい確保できると考えている。予算も10万円はいらないはずで、3万円程度でよいと思う。

全国大会研修費だが、横浜の学会がWebになったので、日本診療放射線技師会全国学会（仙台）に行けるのであれば、同じくらいの予算を組んでもよいのではないか。

河村常任理事：来年度、多く支出しなければならないので、10万円予算を付け2名程度、学会に行かせてもよいと思う。

三輪会長：10万円予算を組み、仙台の全国学会に行く予定としたい。

河村常任理事：胃がん講習会は、3万円程度としたい。

河村常任理事：会誌・抄録集（送料を含む）は、最低45万円は取っておかなければならない。広告収入が極端に落ちているので、念のため50万円組んでおいた方がよい。

三輪会長：健康フェスタを今回パネル展示だけにしたが、来年度も同じようにできるようであれば、同様の内容にて開催したい。

河村常任理事：健康フェスタの予算を1万2000円とする。

三輪会長：女性サミットは来年度、岡山県と鳥取県でおこなわれる。前回は岡山県と高知県でおこなわれた。予算的には同じくらいだと思う。

河村常任理事：女性サミットを10万円とする。

三輪会長：令和3年度の総会が柳井・大島地域になる。地域編成委員会を開催し、総会開催の地域について検討してほしい。総会を担当する地域を５つに分けたい。下関、宇部、中央、周南、柳井＋岩国の５つで総会を担当できればよいのではと考えている。5年に1度担当が回ることにより、必ず中央で記念式典を開催することができるので、そういう方向で検討してほしい。これが可能であれば、柳井地域と岩国地域が担当で、会場はどちらでもよいので総会を開催してもらえればよいのでは思っている。

河村常任理事：地域編成委員会の方に5地域の方向で検討してほしいと伝えた方がよいと思う。

三輪会長：5地域にするということで、記念大会を常に中央で開催するという方向でいきたい。

齋藤常任理事：地域編成委員を招集しなおさなければならない。

三輪会長：理事も変わっているので、地域編成委員を組みなおすこととする。

河村常任理事：他に新しい事業がなければ、残りを学術大会と定例講習会で調整しながら組み直したものを次回理事会に提出する。

三輪会長：会誌の広告費の減収が目立つなかで、会誌の発行回数については事業としてあげていているので変更できない。例えば会誌を印刷せずにホームページに掲載で発行とするとか、印刷費を抑えて経費を削減するなど会誌担当者を中心に検討してほしい。

河村常任理事：例えば印刷会社に会誌をPDFファイルで作ってもらい、パスワードをかけてホームページに掲載というのでもよいと思う。

三輪会長：会誌発行費用に定例講習会と同じくらいの予算に膨れ上がることは、あまりよくないと思う。

三輪会長：将来的には、ホームページをセキュリティも含めて考えて業者に頼みリニューアルしたい。一時的な費用は掛かるが、長い目で見ると経費を削減できるのではないか。しっかりしたセキュリティも考えてもらい会誌もそれで見てもらう。

三輪会長：公益事業積立資産をホームページのリニューアルに使用するのは無理か。

河村常任理事：計画の基、使用しているので無理だ。

三輪会長：会誌発行費を抑えることができれば、例えば会費を下げることもできるのではないか。

河村常任理事：平成29年度のように20万円くらいならよいが、会誌・抄録集（送料含む）予算が年々増えてきている。

三輪会長：今後のことを考え、紙媒体での発行部数を減らしホームページに移行できればと考えているので検討していただきたい。

堀副会長：減価償却費の追加はないか。

河村常任理事：パソコンは減価償却費には入らない形で購入した。エアコンは昨年度に入ったので今年度の追加はない。事務所LED照明購入代は事務所補修備品購入積立資産から支出している。

次回理事会にて令和2年度　事業計画、予算案を議案とする

1. **新型コロナウイルスが総会まで影響があった場合について**

三輪会長：新型コロナウイルスの一件で、総会までこの影響が長引いた場合、総会の開催をどうするかを考えておきたい。実際に委任状だけで総会が成立するのか。定款には「5月に開催しなければならない」とあり、延期できるのかという疑問もある。しかし、いつに延期すれば大丈夫という見込みが経たないので難しい。また、総会を開催しなければ事業を始めることができない。5月開催できる方法を考えておかなければいけないと考えている。

河村常任理事：委任状は増えてもよいと思うが。

三輪会長：確かに増えてもよいと思うが、一人出席者で、他全員委任状という訳にはいかないのではないだろうか。その辺も踏まえて楠本さんに辻・本郷税理士法人の長嶋さんに確認をしてもらうようお願いしたい。

小田副会長：技術学会などはどうなっているのか。

三輪会長：総会がどういう形かが分からない。

河村常任理事：4月になってから学事文書課に相談してみる。

堀副会長：新型コロナウイルスが落ち着くまでは、研修会や学術大会は開催されないので、そこで経費がかかることはない。会議はするかもしれない。会誌も発行しなければならい。

三輪会長：とりあえず総会までの準備は予定通りでしていくこととする。日程は決まっているので、それがどういう形になるかということになる。

楠本事務員に新型コロナウイルスの影響があった場合の総会開催のやり方について長嶋さんに確認をとってもらう

1. **総会委任状送付用はがきについて**

小田副会長より、次回総会より採用する委任状回収用はがき案を提示され検討した。

大平常任理事：「郵送の場合は総会前々日が締め切り」と書いてあるが、間違えないよう締め切り日を書いた方がよい。

三輪会長：「郵送の場合は5月14日必着」と変更する。

三輪会長：理事会にて、この委任状は郵送でもよいし、他の会員に持ってきてもらってよいということを周知したい。

三輪会長：現在、学術大会の演題数はどうなっているのか。

大平常任理事：済生会山口総合病院から2演題だけだ。

三輪会長：理事会にて学術大会演題募集の周知をすることとする。

大平常任理事：演題締め切りは、2月末までで、抄録集に載せるには3月20日くらいまでなら間に合う。

理事会にて総会用委任状送付用はがきの説明をおこなう

理事会にて学術大会演題募集を3月20日までに延長することを伝える

1. **山口県診療放射線技師会功労賞、学術奨励賞について**

齋藤常任理事：山口県放射線技師会功労賞に防府地域　徳光正之会員の推薦状がきている。小田副会長：徳光正之会員は現在まで16年近く長きにわたりほぼ一人で当会のホームページの運営をおこなってきた。

小田副会長：同じ功労賞で、昨年亡くなられた末田修一会員はどうするのか。

齋藤常任理事：推薦状は誰に書いてもらうか。

三輪会長：防府地域か学術担当がよいのではないか。胃がんの学術委員や担当理事を長く担当していたので、現在胃がん担当理事の三輪胃がん担当理事に推薦していただくことで進めていく。

理事会にて山口県診療放射線技師会功労賞に徳光正之会員と末田修一会員とする案を議案とする

一般社団法人山口県診療放射線技師会　令和元年度　第2回常任理事会

議事録作成人　山本　公志

会長 三輪　光良

議事録署名人　 堀　健司

議事録署名人　 齋藤　茂治